

2023年8月17日

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

コードNo.	検査項目名
13803 (従来システム 6344)	IgG インデックス

IgG インデックス検査は中枢神経系内での免疫グロブリン IgG 産生の程度を推測する指標です。脳脊髄液中の IgG は血清からの移行、または中枢神経系内での産生があります。

アルブミンが中枢神経系では産生されないことを利用して、脳脊髄液中と血清中の IgG の比を、アルブミンに対する比率として算出した値が IgG インデックスです。

本検査は、主に多発性硬化症の診断補助として用いられています。

<IgG インデックスの計算式>

$$\text{IgGインデックス} = \frac{\text{髄液IgG (mg/dL)} \times \text{血清アルブミン (mg/dL)}}{\text{血清IgG (mg/dL)} \times \text{髄液アルブミン (mg/dL)}}$$

【開始時期】2023年9月1日（金）ご依頼分より

尚、詳細につきましては、営業担当者またはインフォメーションまでお問い合わせ下さい。
本社 〒710-0834 倉敷市笹沖 468 番地の 5

【受託要領】

コード No. (括弧内は 従来システムコード)	(親)13803(6344) IgG インデックス
	(子)23156(6345) IgGインデックス (子)23157(6346) ALB-S (子)23158(6347) ALB-L (子)23159(6348) IgG-S ※S：血清 (子)23160(6349) IgG-L ※L：髄液
検体量	血清 0.6mL 及び 髄液 0.6mL
採取容器	血清：B (汎用容器(分離剤入り)) → 1 (血清・血漿分離容器) 髄液：1 (血清・血漿分離容器)
保存方法	冷蔵
検査方法	免疫比濁法 及び 比色法
基準範囲	IgGインデックス : 0.73以下 各ALB、各IgG : なし
単位	IgGインデックス : なし 各ALB、各IgG : mg/dL
所要日数	3～5日
報告範囲	IgGインデックス : 0.10未満～最終値 ALB-S : 100未満～最終値 ALB-L : 0.2未満～最終値 IgG-S : 6未満～最終値 IgG-L : 0.2未満～最終値
報告桁数	IgGインデックス : 小数第2位 ALB-S : 整数 ALB-L : 小数第1位 IgG-S : 整数 IgG-L : 小数第1位
検査実施料/判断料	402点 / 尿・糞便等検査 34点
	本検査は、多発性硬化症の診断の目的で行った場合に算定する。
備考	血清と髄液はペアでご提出ください。 血清、髄液を同時に採取できない場合は、24時間以内に採取して両材料を併せてご提出ください。 IgGインデックス、血清アルブミン、髄液アルブミン、血清IgG、髄液IgGの値をご報告いたします。

《参考文献》

中島 一郎, 他: 脳と神経 56, 475～482, 2004.
金井 正光: 臨床検査法提要(第 34 版), 219～220, 2015.

以上